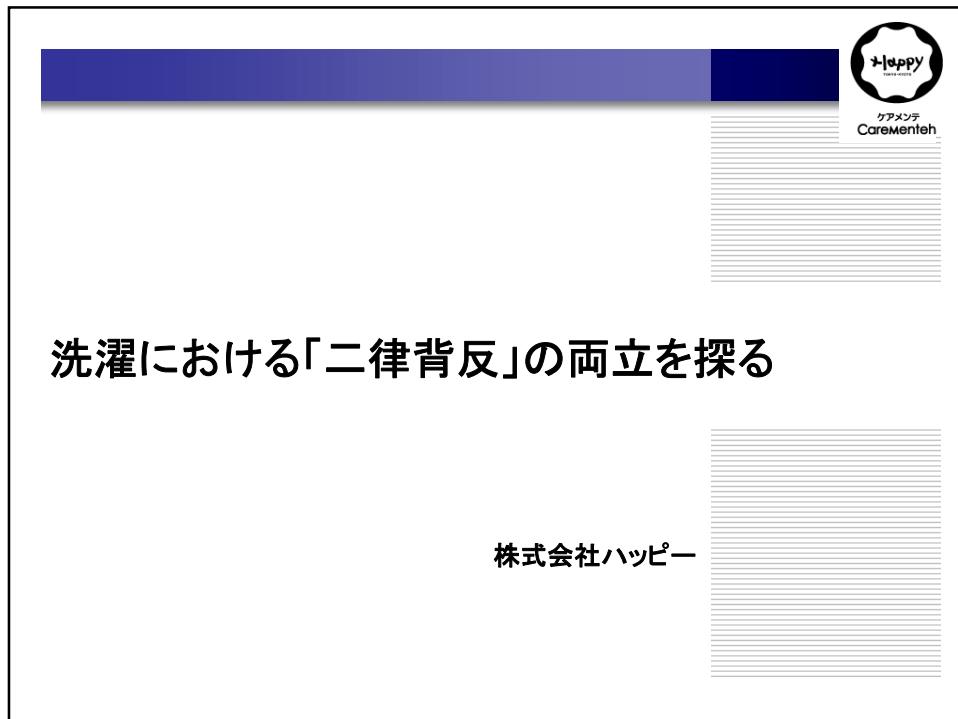


## ■ 家電洗濯機メーカーの皆さまへ



### 洗濯の二律背反を考える

汚れをキレイにする洗浄効果から、繊維とシルエットを壊さない洗浄効果を作ることが高付加価値に結びつくと考えます。

洗濯効果

```
graph LR; AE["洗濯効果"] --> LD["汚れを落とす"]; AE --> ND["繊維・形態を壊さない"]; LD <--> ND
```

汚れをキレイにしようすれば繊維やシルエットが壊れ、繊維やシルエットをキレイに保持しようとすれば汚れは落ちません。→商品開発で最も悩むところ

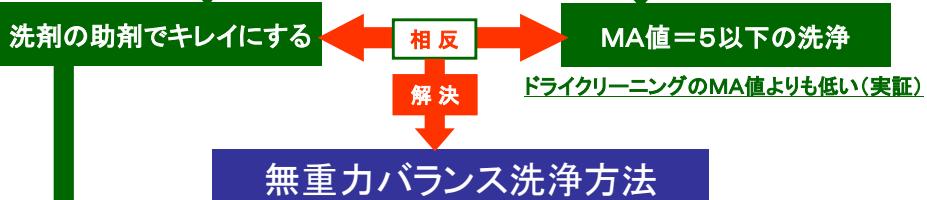
**最良は…**  
汚れが落ちて、且つ 繊維・形態を壊さない洗浄方法

## 洗浄の二律背反を両立させるには？



### 二律背反を両立させる

汚れをキレイにして & 繊維・形態を壊さない というのが理想



助剤：家庭で作れるシミ抜き剤（通称「魔法の水」）

↓  
台所用洗剤+水+オキシドール で対応可能。  
※NPO法人日本洗濯ソムリエ協会/提供

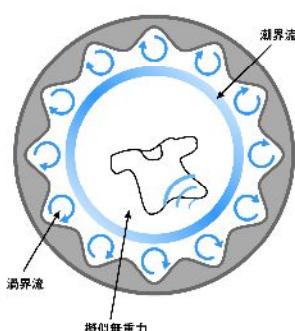


3

## 自分で洗えるものは自分で洗う→もったいない精神



### 無重力バランス洗浄方法



#### メリット

- 洗濯絵表示が全て「×」の衣服が洗える



#### デメリット

- 水を多量に使う … デリケート衣料のみ（※）  
※一般衣料には、ドラム式たたき洗い効果を出す（浴比2~3）



「衣服を捨てる」か「水の節約」か？ = どちらが エコと言えるのか？

消費者ウケするのは「エコ」。しかし、実態は不明。

4

## ハッピーからのご提案…新商品開発



ハードの機能を販売するだけでなく、洗浄の仕上げとソフトを付加して販売

「エコ」という高付加価値(水を節約する商品開発)から  
被洗物視点の高付加価値(衣服を長持ちさせる商品開発)へ

◎「水」だけの視点から、地球全体資源の節約 & 環境保全の視点へ



『無重力バランス洗浄』によって、今まで家庭で洗えなかった衣服を、  
繊維や形態を壊すことなく、水でキレイに洗える高付加価値洗濯機  
を開発することが有効と考えられます。

ハッピーは、自社の基本特許(『無重力バランス洗浄』)を公開して、  
衣服を長持ちさせるキャンペーンの展開を提案します。